



ツンドク

2025年1月発行 第24号

発行：市立名寄図書館

名寄市大通南2丁目 TEL2-4751

開館時間

＜本館＞

火・金・土・日 9:30-17:00

水・木 9:30-19:00

＜分室＞

月・火・水・木・金 9:30-17:00

土 9:30-13:00

みなさんこんにちは。名寄市立大学図書館サークルぱたん、ぺらです。今年度市立名寄図書館とおたよりツンドクにてコラボさせていただいています。そして今回はなんと！ぱたん、ぺら特集号となっています。サークル員の愛情のこもった本の紹介文やかわいい自画像、図書館職員の方へのインタビューにも注目です！

これから紹介する本が、今これを読んでくださっている方の「ツンドク」になればとっても幸いです。

SNSで話題の あの本

『レゾンデートルの祈り』

樫一志/著 ドワンゴ

安楽死が合法化された未来の日本。安楽死を希望する人々の相談に乗る人間〈アシスター〉である眞白(ましろ)はある後悔を抱えながら、生と死の狭間で揺れ動く人々の光になりたいと祈り、寄り添い続ける。生きたくても生きられない。死にたいのではなく生きていたくない。そんな彼らにかけられた眞白の言葉が、読んでいるあなたにも響くかもしれません。"生きること"について考えたことのある人。安楽死という言葉に惹かれた人。レゾンデートルって何？と思った人などなど。どんなきっかけでも読んでみてほしい、SNSでも話題になった切なくも美しい作品です！



本の紹介者は
堂田実花さんです！

『世界でいちばん透きとおった物語』

杉井光/著 新潮社

大御所ミステリ作家の宮内の死後、彼の長男から僕に連絡が入る。「親父が『世界でいちばん透きとおった物語』という小説を死ぬ間際に書いていたらしい。何か知らないか」宮内は既婚だが多くの女性と交際し、そのうちの一人と子どもを作る。その子どもである僕は、一度も会ったことがない父である宮内の遺稿を息子の連絡をきっかけに探すことになる。編集者の霧子さんの力も借り、関係者や宮内の愛人たちを調べていくうちに、宮内の複雑な人物像を知っていく。

やがて宮内の遺稿を狙う別の何者かの妨害も始まり、ついに僕は『世界でいちばん透きとおった物語』に隠された衝撃の真実にたどり着く。また、この本は電子書籍ではなく、紙の本でしか実現できない、ある仕掛けがあることで話題に。ぜひ、「透きとおる」瞬間を感じるために、最初から最後まで読んでみて下さい！



本の紹介者は
貝塚みづほさんです！

私の進路を 変えた本

『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ/著 中央公論 新社

本の紹介者は
高橋佳奈さんです！



2021年の本屋大賞、2024年には映画化。私が、この本と出会ったのは、高校3年生の12月。その時の私は、進路に迷っていました。元々、保育士になりたくて、名寄市立大学に進学したいと考えていました。しかし、自信が持てず、受験勉強に集中することができませんでした。担任の先生からは、「なぜ保育士でないといけないのか、他の子どもと関わる仕事ではだめなのか」と言われた時に、上手く答えることができませんでした。そんな時に、気分転換に友だちと図書室に行った時に、この作品に出会いました。それまで、読書をするのが、あまり好きではなかった私が、初めてちゃんと読んだ小説です。この作品を読んで、保育士ではなく、社会福祉士になりたいと自信を持つことができました。なぜ、私が社会福祉士になりたいと思ったのか、ぜひこの作品を読んでみてください！

きっと、その答えが、この作品の中にあると思います。

誰もが読んだあの絵本 作者はどんな人だったのか

『未来のだるまちゃんへ』

かこさとし/著 文芸春秋

本の紹介者は
栗村慶正さんです！



「だるまちゃん」と「てんぐちゃん」、「からすのパンやさん」など、多くの有名な絵本を生み出したかこさとしさんの人生経験から、子どもは口に出さずとも心の内に沢山の想いを秘めていること、大人の都合で型にはめられてはいけないことなどが語られており、子どもは物凄い存在であることを再認識できました。だるまちゃんの誕生秘話もあります。

図書館の方にインタビュー



市立名寄図書館の魅力や推し本について、職員吉田佑希さんにお話を伺いました！

Q好きな食べ物について教えてください！

A おもちが好きです。

Q好きなアーティストはいますか？

A LACCO TOWERというロックバンドが好きです。
曲はもちろんですが、毎年ハロウィンコスプレも楽しみにしています。



Q業務内容について教えてください！

A ツンドク作成、ミニ展示の本選定、バスやまゆり号の運行日程調整、新着図書リスト作りなどを行っています。

Q働いているからこそ分かる！市立名寄図書館の魅力や特徴はどんなところだと思いますか？

A 道内の市の図書館で一番古いところや、新着図書が毎週50冊程度入るところ、そして風連分室もあるため蔵書数が多いところだと思います。

Q市立名寄図書館のお気に入りの場所はどこですか？

A 新刊や雑誌の登録作業をするPCスペースが好きです。
落ち着ける空間なので作業に没頭出来ます！



Q現在の推し本について教えてください！

A 梨木香歩さんの『西の魔女が死んだ』という本です。この本は中学生の時に、大好きな担任の先生にもらった思い出の本でもあります。魔女修行と聞くとファンタジーのイメージがありますがこの本では中学生の不安や怒りが表現されているなどタイトルからは想像できない現実的な内容になっています。

Q中高生のころ読んでいた本について教えてください！

A 時雨沢恵一さんの『キノの旅』シリーズや、田中芳樹さんの『創竜伝』シリーズ、喬林知さんの『今日からマのつく自由業！』シリーズを読んでいました。
非日常を一番手軽に味わうことの出来るファンタジー系が好きです。

Q幼少期に読んだ時と、大人になってから読んだ時で、考え方、捉え方が変わった本はありますか？

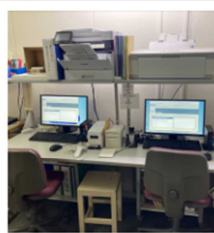
A はじめて読んだのは小学生にあがる頃だったかと思うのですが、『100万回生きたねこ』にはずっとこわい本だというイメージを持っていました。死というものにネガティブなイメージしかなく、最初の頃のねこのように何度も生き返ることが良いことだと思っていたのかもしれませんが。図書館で働くようになってから読み返したときにねこの人生(猫生?)は終わってしまったのではなく、愛する人を得てやっと終わることが出来たんだと気づきました。

Q中高生の皆さんに伝えたいことはありますか？

A 色々な本を今のうちに読んでほしいです。同じ本であってもその年代でなければ受け取れないものがあると思います。いっぱい図書館を利用してください！



↑ 吉田さんに自画像をお願いしたところ、とてもかわいいキツネを描いてくださいました！



↑ 吉田さんお気に入りの場所



↑ X(旧Twitter)アカウント
@nayoro_library